

A. まちづくりセミナー

代スキ会はこれまでの蓄積をベースに、さらに代官山を豊かで、刺激的で楽しい街にしたいと願い、新たなプログラムとして「まちづくりセミナー+まちづくり会議」を立ち上げました。これは都市、文化、住・商業環境、地域ネットワーク、交通など、各分野で活躍されている方々を講師にお招きし、まちを多様な角度から学び、今後のまちづくりの方向を皆さんと共に考えていく場です。皮切りとなる第1回の講師は、代官山に事務所をかまえ、全国で美術を媒介にまちづくりを実践している北川フラム氏にお願いしました。代官山に関わる人、街づくりに関心をもつ人々をはじめ、皆様どうぞお気軽にご参加ください。

「時間がつくるまちの魅力」 講師：北川フラム

氏は、再開発をはじめ時間の蓄積のない、新しい街へアート作品の導入を数多く手掛けていますが、その思いを次のように語っています。利便性が優先する均質で冷たい現代の街で、人間と感応でき、親しみもてる媒介物にアートがなり得たら！スペインのアーティスト、ジョアン・ミロは語っている。「私の作品のすべては、ガウディに負っている。幼い頃に遊んだグエル公園での記憶が、私の美術の源なのだ」たくさんの人たちや、組織や、法律や、お金が関わりながら進んでいくまちづくりのなかで、道筋が見えなくなったとき、いつも思い返すのは、「やがてミロとなる一人の子どものために！」ということだった。街はハードができた時に完成するのではなく、時を経た人々の記憶、願いなどの重層が豊かな街の形成に寄与しているようです。今回はこの「時間（記憶）」をキーワードにお話しいただきます。

北川フラム（アートディレクター・アートフロントギャラリー代表）

1946年新潟県高田市生まれ。東京芸術大学卒業。主なプロデュースとして、現在のガウディブームの下地をつくった「アントニオ・ガウディ展」、全国194ヶ所38万人を動員し、アパートメントに反対する動きを草の根的に展開した「アパートメント否！国際美術展」等。街づくりの実践では、米軍基地跡地を文化の街にかえた「ファーレ立川アート計画」、新潟県十日町市を中心とした過疎の地域活性化プロジェクト「越後妻有アートネックレス整備構想」の総合ディレクター等多数。長年の文化活動により、2003年フランス共和国政府より芸術文化勲章シュヴァリエを受勲。
〈委員〉宇宙ステーション・JEM広報・情報センターアドバイザー、渋谷区まちづくり審議会委員、埼玉県景観アドバイザー等



B. 代官山まちづくり会議

以前開催していた「井戸端会議」をバージョンアップ。セミナーの後にゲストを交えて、街に関する意見交換会を予定しております。
皆様のご意見をぜひお聞かせください！

代官山ステキな街づくり協議会
(略して代スキ会)へのお誘い

- 代スキ会ホームページ
<http://www.daikanyama.ne.jp/machi/>
- 個人会員 1,200円/年(1口より)
法人会員 12,000円/年(1口より)
- お問い合わせ先 代官山ステキな街づくり協議会事務局
(ICAデザイン研究室)

石原貞治 03-3461-6575 野口浩平 070-5023-7747
ica@alles.or.jp kohei@land.linkclub.or.jp

代スキ会認可団体
になる！！



FAX 通信用紙 03-3476-4874

どちらかに○をおつけください。

氏名 _____

住所 _____

電話番号 () _____

FAX 番号 () _____

E-mail _____

A. 出席 ・ 欠席

B. 出席 ・ 欠席